

柔道整復科

I部：全日制 昼間部
修業年限：3年
9:30-16:40(月-土 週6日制)

II部：夜間部
修業年限：3年
18:00-21:10(月-土 週6日制)

目指す
国家資格

柔道
整復師

医療から介護、スポーツまで、
目指す分野で活躍できる
人材を育成します。

3つの強み

理論と実技を しっかりと 学べる！

柔道整復学の根幹である理論と実技を3年間、徹底的に学び、医療人に必要とされる基礎医学・臨床医学の高度な能力を養成します。

国家試験を こまやかに サポート！

国家試験を強く意識したカリキュラムに加え、徹底した国家試験対策サポートを展開することで、国家資格の取得をこまやかに支援します。

企業との連携で 専門技能が 身につく！

文部科学省「職業実践専門課程」に認定された、企業・団体等と連携した職業教育を実施。高度な専門技能を実践的に修得します。

卒業認定・専門士授与方針 (ディプロマポリシー)

- (1) 地域の初期医療の担い手として医接連携を行い、柔道整復師の知識・技術を駆使して施術の実践を行うことができる。
- (2) 医療施設において他の関係職種との連携をとり、患者安全を第一に行動できる。
- (3) スポーツ現場等で救命処置ならびに応急処置方法の選別ができる。
- (4) 柔道整復の有用性を吟味し、科学的に検証する手法を培うことができる。

教育課程編成・実施方針 (カリキュラムポリシー)

- (1) 地域の初期医療の責任を全うできる。
柔道整復師が地域の初期医療として、患者本位の施術を行うために柔道整復師の本業である運動器系の皮下損傷の施術以外にも、様々な疾患に対して医接連携を図れる能力を身につけるカリキュラムを編成する。
- (2) 医療・介護機関へ参画できる。
医療・介護機関に従事する柔道整復師として運動器に対する知識を活かし、医師や他の医療従事者と連携を図り、運動器症候群に対する機能改善や要介護認定者への支援する能力、予防医学も含めた能力を身につけるカリキュラムを編成する。
- (3) スポーツ外傷に対する施術を実践できる。
スポーツ外傷や障がいならびにコンディショニングまで含めて総合的に支援できる能力を身につけるカリキュラムを編成する。
- (4) 柔道整復技術を科学的に実証できる。
古来の優れた柔道整復技術の有用性を吟味し、その技術を現代医療の見地から科学的に検証できる能力を身につけるカリキュラムを編成する。

教員メッセージ



プロの世界で通用する知識、技術、意識を、呉竹という学びの環境で養ってください。

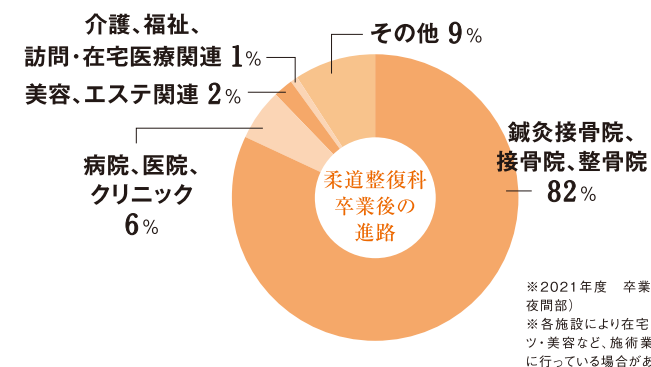
柔道整復科では、社会の幅広いニーズを反映したカリキュラムや特別講座により、自身の目標に合わせた技能の修得が可能です。さらにアクティブラーニングを重視した授業により自ら考え、行動する能力を養い、知識・技術を臨床現場でリンクさせるため1年次から臨床実習を展開しています。皆さんには「プロフェッショナルになる」という意志と目標を持って学び続け、身につけた力で社会に貢献してもらえことを願っています。

柔道整復科 科長
本多 修二

教員紹介はこちら▶



将来の活躍の場



現場で鍛える

臨床教育

将来の目標に応じた外部の協力施設で臨床経験を積み、附属施術所・附設クリニックで医療業務と施術の実践的な指導を行います。

学外 協力施設での臨床実習 1～2年次

4分野の学外協力施設での現場教育で、患者さまへの接遇や柔道整復の関連業務を学び、自らの将来観や職業観、医療人としての自覚を高めていきます。

実習先は **86** 施設!!

4分野の実習先施設
① 地域医療を担う接骨院
② 超音波観察装置を導入した施設
③ 医療機関・介護施設
④ トレーナー活動を実施する医療機関や接骨院 ※2022年度実績。

学内 附属施設での臨床実習 2～3年次

附属施術所、附設クリニックで行う2段階の臨床教育により、学んできた知識と技術を医療業務として体系化していきます。

2年次 附属施術所・附設クリニックでの見学実習により、患者さまへの接遇や業務、各種測定検査のほか、代表的な外傷・疾患の鑑別、整復・固定・後療法を修得。

3年次 附属施設での実習で、保健医療業務、各種測定検査のほか、代表的な外傷・疾患の鑑別、整復・固定・後療法を修得。